

①訓練非常

非常通信訓練では必ず「訓練非常」と記入して下さい。電報の送信時も必ず「訓練非常」と送信して下さい。

訓練以外の非常通信時は訓練は不要、送信時は「非常」と送信する。

非常通信用紙

宛先	機関名： ②
	発信日時 ③ 月 日 時 分
発信人	機関名： ④
	⑤(取扱者：)
通報文	発生日時： ⑥ 平成 年 月 日 時 分
	災害種別： ⑦ 地震・洪水・火災・津波
	被災地区： ⑧ 被災した地区名
	被災状況： ⑨
	要請内容： ⑩
伝達経路	⑪ 受信(時 分)・⑫送信(時 分) ⑬ 機関名： ⑬ 取扱局です。例・・・JH5QHOになります。 ⑭(取扱者：)
	⑮ 受信(時 分)・⑯送信(時 分) ⑰ 機関名： ⑰ 受信を完了した時刻を記入 送信局は送信完了時刻となる ⑱(取扱者：)
	⑲ 受信(時 分)・⑳送信(時 分) ㉑ 機関名： ㉑ ㉒(取扱者：)
	㉓ 受信(時 分)・㉔送信(時 分) ㉕ 機関名： ㉕ ㉖(取扱者：)
	㉗ 受信(時 分)・㉘送信(時 分) ㉙ 機関名： ㉙ ㉚(取扱者：)

該当災害を○で囲んで下さい、該当がない場合は余白に記入してください

訓練の場合は、被災情報の前に「訓練非常」と記入しその後被災状況を入力(記入)してください

受信を完了した時刻 又は電報を受け取りOKした時

送信を開始時刻 使送の場合は出発した時刻

JH5QHO

* 各市町村は都道府県を宛先とし、各都道府県は宛先を内閣府とし、中継依頼機関に送信すること。
 * 中継依頼機関は伝達経路欄の各項目に記入の上、回送すること。
 * 受信時刻と送信時刻は、原則受信時刻については受信完了時刻。送信時刻については、送信開始時刻を記載すること。
 * なお、使送の場合は、受信時刻は、使送者から通信文を受け取った時刻、送信時刻は、使送者が自機関を出発した時刻を記載すること。